

教える者と学ぶ者が互いに切磋琢磨し合う 緒方洪庵の「適塾」の志を伝える*

2018年度『CIM塾』開講のご案内

主催：大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 環境設計情報学領域（矢吹研究室）
後援：（一財）日本建設情報総合センター / （一社）Civil ユーザ会

国土交通省では、i-Constructionのトップランナー施策である「ICTの全面的な活用」の推進に向け、3次元モデルを活用し、社会資本の整備、管理の効率化・高度化を図る CIM (Construction Information Modeling / Management) を、道路、橋梁、河川の大規模工事の詳細設計について義務化することとなりました。また「CIM導入ガイドライン」を改訂し、質・量共に向上させました。2016年度に大阪大学にて「CIM塾」を初めて開講し、今年度は、3日間で集中的に必要な事項とスキルを学べるよう、さらにパワーアップした『CIM塾』を以下の要領で開催致します。奮ってご応募下さい。

■ 『CIM塾』開催要領 **最大募集人員：44名**（募集定員になり次第募集締め切ります。）



【1】日時：2018年7月4日（水）～7月6日（金） 2泊3日

【2】場所：晴海グランドホテル

【3】受講対象者：発注者・測量者・設計者・施工者・ベンダー・CIMプロジェクト推進者・CAD従事者

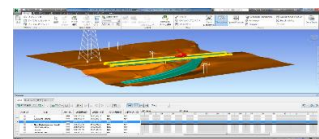
【4】受講費用：¥200,000-（税抜）（官公庁の発注者は実費のみ負担）（振込費は申込者負担）
受講費用に含まれるもの：テキスト、PC使用、宿泊費、食事（2夕食、2朝食、3昼食）

【5】開催内容

本塾では、CIMに関する学問的なバックグラウンドと最新情報を座学で習得し、3Dプロダクトモデル構築に必要なソフトウェアについてスクール形式で実機を用いて基本操作を学習する。同時に、造成、高速道路、道路、河川、橋梁、上下水道などの3Dプロダクトモデル構築を課題を通じて実際に行ない、最終的にはプレゼンテーションファイルを作成するところまで行う。また、CIMのケーススタディも行う。

- (1) 受講形態：座学およびスクール形式によるPC操作、演習。
- (2) 習得目標：CIMスキルレベルⅡ（裏面参照）
- (3) 利用ソフト：Autodesk Civil 3D / Revit / InfraWorks を中心とし、その他のソフトについても説明を行う。
- (4) スケジュール（予定）

7月4日		7月5日		7月6日	
9:30	集合	7:00	朝食	7:00	朝食
9:30	受付	8:00	Civil 3D 基本操作(2)	8:00	進め方の説明1
10:00	開講式			8:05	Workshop1
10:05	自己紹介			10:00	Workshop2
10:30	CIM概論	11:30	CIM各論(1)	12:00	昼食・休憩
12:00	昼食・休憩	12:00	昼食・休憩	12:00	昼食・休憩
13:00	CIM対応ソフトウェアの紹介	13:00	Revit基本操作	13:00	Workshop3
13:30	CIM塾の内容とCIM基礎知識			15:00	発表会
14:30	Infraworks基本操作	18:00	CIM各論(2)	17:30	休憩(判定会)
18:30	夕食・休憩	18:30	夕食・休憩	17:35	閉会式
20:00	Civil 3D 基本操作(1)	20:00	Navisworks基本操作	18:00	解散



*：大阪大学の源流の一つは緒方洪庵の適塾です。

一般社団法人Civilユーザ会 CIM塾事務局（担当：石川）

〒170-0014 東京都豊島区池袋二丁目11番9号 安藤ビル2階 TEL 03-5949-3122（お問合せは左記へ）

お申し込みは裏面の申込書でFAXでお申し込みください。（御問合せは上記にお願いいたします。）

『 CIM塾 』 受講申込書

申込期限 : 2018年6月22日

(受講料振込期限 : 2018年6月29日)

一般社団法人Civilユーザ会 CIM塾 事務局 御中

FAX

03-3981-0131

■ 申込欄に必要事項を記載の上、FAX で上記までお送りください。

受講申込欄

貴社名	ご芳名
所属部署	役職
TEL	E-Mail
受講用パソコン・ソフトについて →	<input type="checkbox"/> CIM塾設備を利用 <input type="checkbox"/> 持ち込み <input type="checkbox"/> 以下を申し込む
請求書送付住所 :	
ご質問欄	

CIM スキルレベルII (案)

項目	内容	備考
座標系知識	・座標系が何かわかる	
	・Civil で座標系が設定できる	
	・座標系の変換ができる	
	・イメージを位置合わせできる	
GIS	・GIS データを編集できる	QGIG
	・形状・属性の編集ができる	ArcGIS
	・属性情報を追加できる	Map 3D など
地形作成	・現況地形を再現できる	
	・複数のデータから地形を再現	
	・地質パネルダイヤグラムを地形に合成できる	
	・簡易な地層モデルを再現できる	
土量計算	・単純な土量計算ができる	
	・いろいろ手法で土量を計算できる	

線形設定	・単純な線形(平面、縦断)が設定できる	
コリドー作成	・コリドーの基本を理解している ・コリドーを作成できる	
設計	・新設設計に利用できる ・拡張・拡張設計に利用できる	
構造物作成	・ファミリーを作成、編集できる	
	・パラメーターを用いてファミリーを作成、編集できる	
	・配筋を作成、編集できる	
	・配筋の干渉チェックができる ・属性情報の追加、編集ができる	
施工計画	・施工計画を表現できる	
	・タイムライン機能を使って施工ステップを表現できる	
情報化施工	・情報化施工用データに変換できる	
協議、プレゼンテーション	・協議、プレゼンテーション用データの準備ができる	
	・AutoCAD360、3D-PDF の作成ができる	
	・ウォークスルーによる動画作成ができる	

『 CIM塾 』 受講の際のハード・ソフトの利用料は当塾の設備を利用しますので受講料に含まれます。自習・業務適用のため学外で利用されたい場合は、以下のような環境が必要です。別途費用を頂く事により、環境整備をご支援いたします。

(1) ハード : ノート型のモバイルWS (下記推奨スペック) ・ ・ **参考価格 : ¥334,800-(税込)**

本体 HP ZBook Studio G3 後期型 標準構成モデル / Windows 10 Professional (64bit) (日本語版)
 プロセッサ インテル Core i7-6700HQ プロセッサ (2.6GHz - 3.5GHz、コア数4、キャッシュ 6MB)
 メモリー 32GB 2133MHz DDR4 (16GBx2) DDR3L SDRAM (4GBx4) / ディスプレイ 15.6インチワイド フルHD液晶
 グラフィックス NVIDIA Quadro M1000M 4GB / ストレージ HP Z Turbo ドライブ 512GB (PCIe M.2 SSD,NVMe)

(2) ソフト : Autodesk 社製 『 CIM塾 』 利用ソフトウェア ・ ・ ・ **参考費用 (年間利用料) : ¥454,680-(税込)**

Autodesk AECコレクション (<https://www.autodesk.co.jp/collections/architecture-engineering-construction/overview>)